

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第4週(ARIのみ第3週)の発生動向

□ 全数報告の感染症 (4週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例。
4類感染症：つつが虫病1例。5類感染症：梅毒2例、百日咳5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類 感染症	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O115(VT1)
		高鍋	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O91(VT1)
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類 感染症	梅毒	都城	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
	百日咳	宮崎市	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
			0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
			0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐、白血球数增多
			60歳代	女	—	持続する咳
		高鍋	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,125人(定点当たり49.8)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。また、第3週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,789人(定点当たり63.9)で、前週比89%と減少した。

【インフルエンザ】

報告数は822人(29.4)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(53.8)の約0.6倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

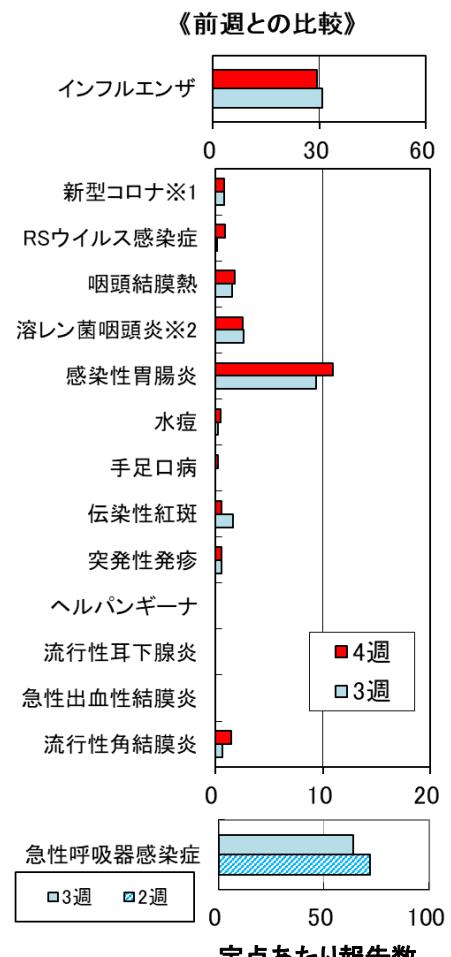
【感染性胃腸炎】

報告数は164人(10.9)で、前週比116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(11.2)の約1.0倍であった。年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

【咽頭結膜熱】

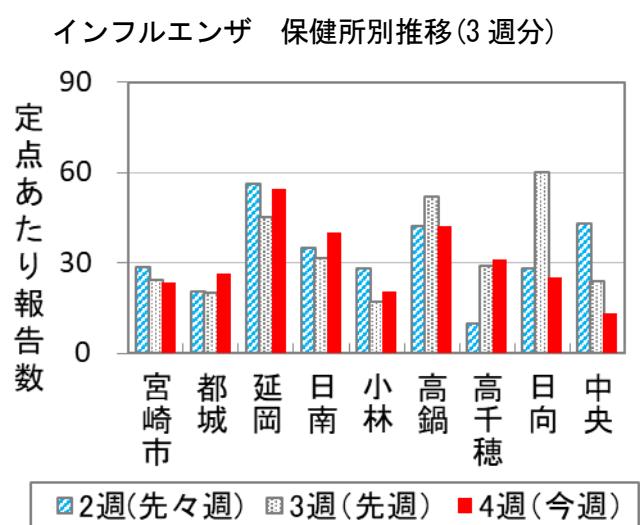
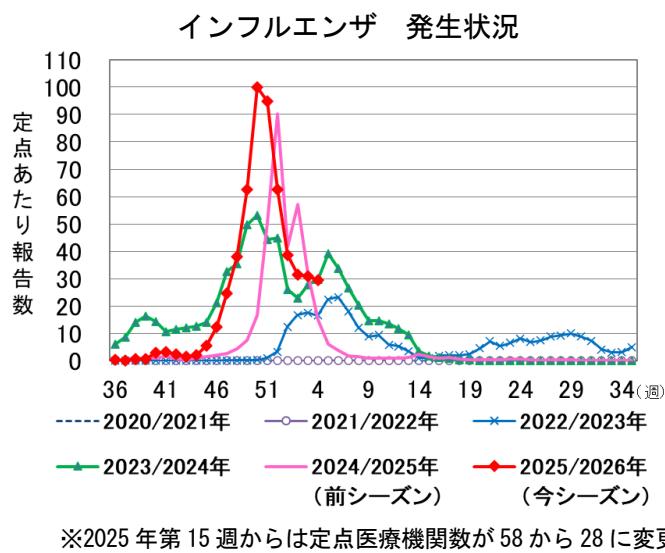
報告数は27人(1.8)で、前週比117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.63)の約2.9倍であった。年齢群別は5歳から6歳が全体の約3割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015~2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

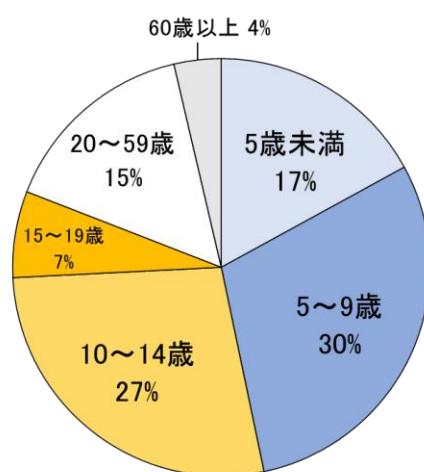


※1 新型コロナウイルス感染症

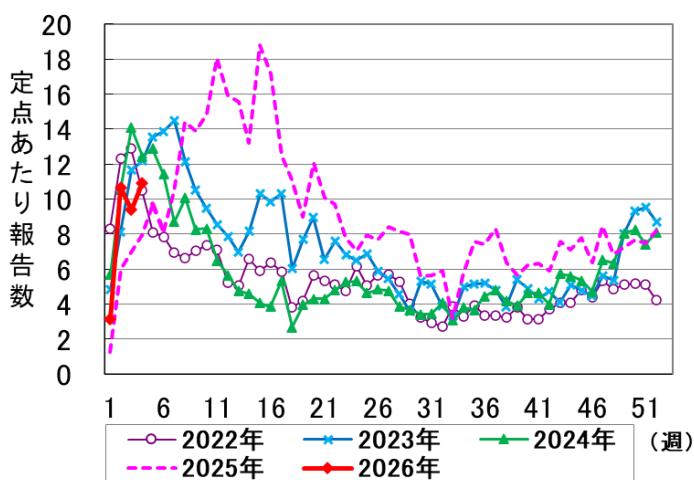
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



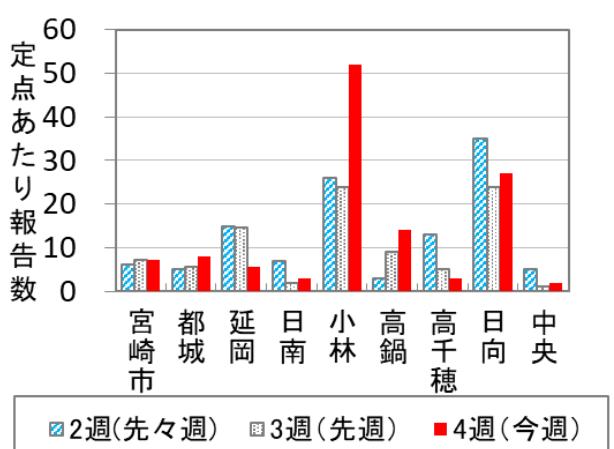
インフルエンザ年齢群別グラフ(第4週)

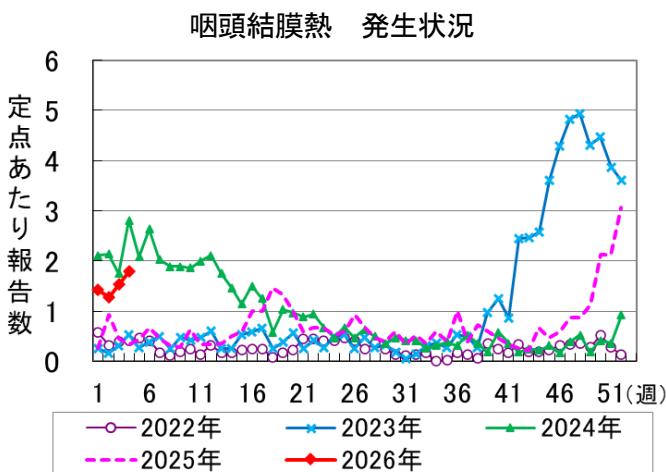


感染性胃腸炎 発生状況

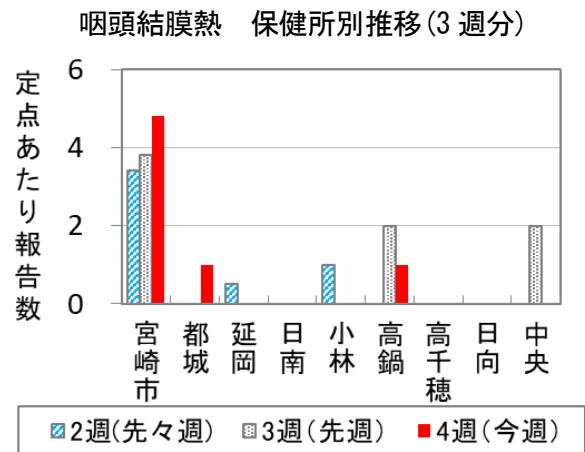


感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)





※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.14)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は10～14歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(23.3)、咽頭結膜熱(4.8)、水痘(1.4)
都城	インフルエンザ(26.5)
延岡	インフルエンザ(54.3)
日南	インフルエンザ(40.0)
小林	インフルエンザ(20.5)、感染性胃腸炎(52.0)
高鍋	インフルエンザ(42.0)
高千穂	インフルエンザ(31.0)
日向	インフルエンザ(25.0)、感染性胃腸炎(27.0)
中央	インフルエンザ(13.0)、伝染性紅斑(3.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

流行注意報レベル基準値

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2026年第3週:1月12日～1月18日搬入分)

検出病原体		検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09
		0
	B型	AH3
		5
新型コロナウイルス	B型	ピクトリア系統
		2
	A型	山形系統
		0
RSウイルス		1
パラインフルエンザウイルス	A型	B型
		1
	B型	0
		0
ヒトメタニューモウイルス	1型	0
	2型	0
	3型	0
	4型	0
ライノウイルス		0
エンテロウイルス		0
アデノウイルス		0
インフルエンザウイルスAH3・パラインフルエンザ1型		1
検出せず ^{※2}		6
受付検体数		16

○ 急性呼吸器感染症(ARI) ^{※1}サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイラント遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかつた検体数を計上

■ 全国 2026 年第 3 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし			
2類感染症	結核		208 例	
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	41 例
4類感染症	E型肝炎	16 例	A型肝炎	2 例
	つつが虫病	8 例	デング熱	1 例
	レジオネラ症	35 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	10 例
	クリプトスパリジウム症	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	64 例	水痘(入院例)	11 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	麻しん	3 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 105%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は、水痘、伝染性紅斑であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 92%と減少した。

インフルエンザの報告数は 43,027 人(11.3)で前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(34.1)の約 0.3 倍であった。宮崎県(30.8)、鹿児島県(28.0)、大分県(21.4)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 606 人(0.26)で前週比 70%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.46)の約 0.6 倍であった。宮崎県(1.6)、熊本県(1.3)、鹿児島県(1.0)、岡山県(1.0)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 504 人(0.22)で前週比 79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.33)の約 0.7 倍であった。宮崎県(1.5)、島根県(1.2)、山形県(0.62)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約半数を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第04週(01月19日～01月25日)

疾病名	第03週	第04週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	861	822	210	106	163	80	41	84	62	50
	定点当り	30.75	29.36	23.33	26.50	54.33	40.00	20.50	42.00	31.00	25.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	22	24	4	3	10	2		4	1	
	定点当り	0.79	0.86	0.44	0.75	3.33	1.00	0.00	0.00	2.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	2	13		7	1	4	1			
	定点当り	0.13	0.87	0.00	3.50	0.50	4.00	1.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	23	27	24	2			1			
	定点当り	1.53	1.80	4.80	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	39	38	14	8	3	1	3	3	2	2
	定点当り	2.60	2.53	2.80	4.00	1.50	1.00	3.00	3.00	2.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	141	164	36	16	11	3	52	14	3	27
	定点当り	9.40	10.93	7.20	8.00	5.50	3.00	52.00	14.00	3.00	27.00
水 痘	報告数	4	7	7							
	定点当り	0.27	0.47	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		4	4							
	定点当り	0.00	0.27	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	24	8	3		1		1			3
	定点当り	1.60	0.53	0.60	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	3.00
突発性発しん	報告数	8	8	1		3	1	1	2		
	定点当り	0.53	0.53	0.20	0.00	1.50	1.00	1.00	2.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	4	9	5	1	3					
	定点当り	0.67	1.50	1.67	0.50	3.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2026年 第03週(01月12日～01月18日)

	第02週	第03週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数	2011	1789	459	177	266	93	121	185	75	260
	定点当り	71.82	63.89	51.00	44.25	88.67	46.50	60.50	92.50	37.50	130.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数 (2026年 第01週～04週 保健所受理分)

2類感染症	結核	6例									
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例(2)									
4類感染症	つつが虫病	2例(1)									
5類感染症	クリプトスボリジウム症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒						
	百日咳	8例(5)									

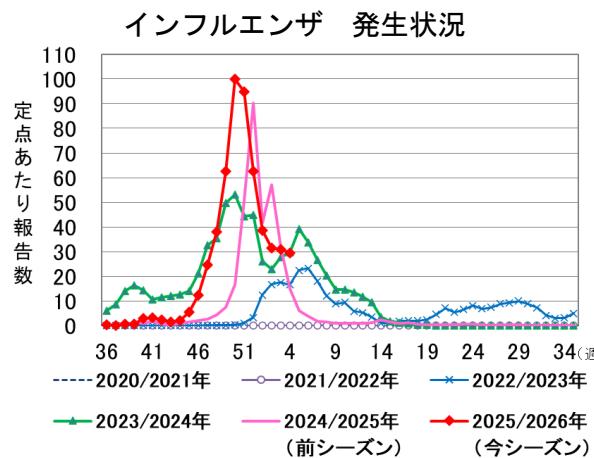
()内は今週届出分、再掲

■ インフルエンザ情報《県内第4週、全国第3週（再掲）》

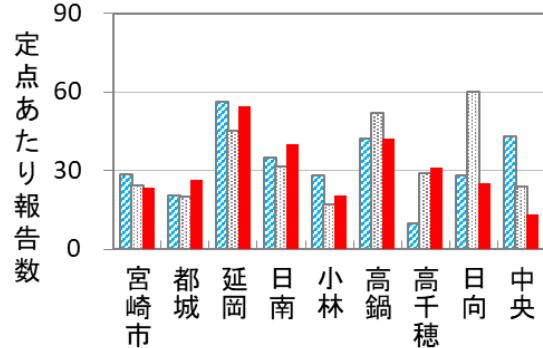
□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

1月19日～25日までの1週間では822人(29.4)の報告があった。前週比95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(53.8)の約0.6倍であった。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



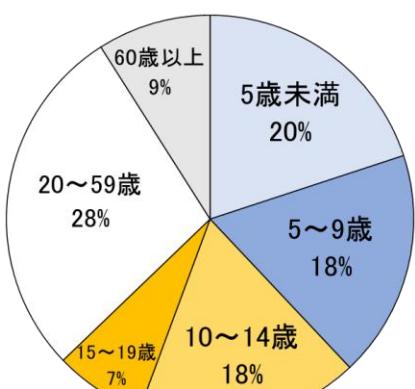
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



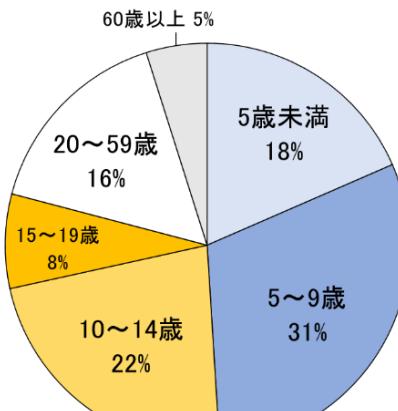
■ 2週(先々週) ■ 3週(先週) ■ 4週(今週)

インフルエンザ 年齢群別グラフ

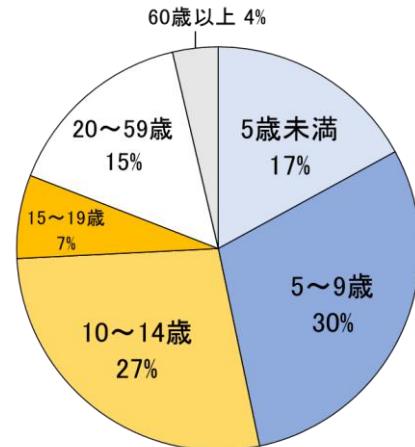
第2週



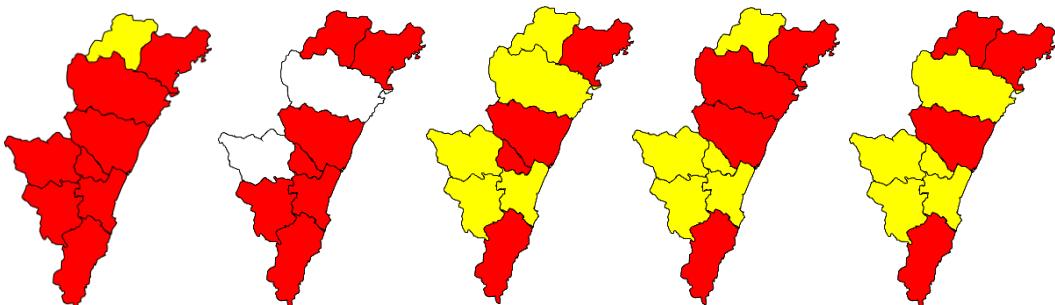
第3週



第4週



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2025年第52週～2026年第4週



□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

1月12日～1月18日までの1週間で43,027人(11.3)の報告があった。前週比107%と増加した。宮崎県(30.8)、鹿児島県(28.0)、大分県(21.4)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の18%、5~9歳が25%、10~14歳が18%、15~19歳が9%、20~59歳が24%、60歳以上が6%であった。